

Social Welfare Corporation

Sawarabi Group



「自分らしさ」を活かす仕事です。



川内 元徳

さわらび会統轄施設長

The chief director Greeting



Motonori Kawauchi

ごあいさつ

社会福祉法人さわらび会は平成9年に設立、特別養護老人ホーム、ケアハウスの施設サービスや通所介護、訪問介護の在宅サービスの提供をおこなっています。関連事業所の医療法人川内内科と医療の連携を図り、利用者様が安心して生活していただけるよう努めています。また、職員の意見を尊重し、生きがいをもって働くことができる職場づくりに取り組んでいます。地域に根ざした信頼と満足を得られる介護を提供し、地域社会に貢献します。これから介護・福祉の仕事に取り組もうとされている皆様。さわらび会で「自分らしさ」を発揮してみませんか。さわらび会には、皆様の色々な考え方や熱い思いをあたたかく受け止めてくれる“上司”や“仲間”が待っています。これから迎える世界で一番の超高齢化社会の日本。皆様の力が不可欠です。私たちといっしょに支えていきましょう。



田渕 勝哉

2012年度入社

● 特別養護老人ホーム「かもな園」

介護職員

Message from Sawarabi Staff



Katsuya Tabuchi

自分の成長を実感。

私は老健で働いていましたが、特養の介護に興味を持ち思い切って転職しました。介護に対するモチベーションは高い方だと思っていましたのですが、かもな園には更に上の“どこか抜けているのにやたらアツイ上司”がいます。そんな職場で働くことは良い刺激になっています。数十人の利用者を決められた職員数で介助する事は以前の職場で経験していましたが、そんな中でも個別の対応ができる事に衝撃を受けました。1対1で買い物に行ったり、一泊旅行にも行きました。毎日の業務を停滞させないでこれらの催しや行事を実行するには、やはり職員間の信頼や団結力が必要です。結果、利用者様の「笑顔」や「長生きはするもんじゃ」の一言に触れる事ができると思います。

そういう企画を現場から発信できる雰囲気があり、承認してくれる“上司”がいる…(アツイ上司は利用者様の事になると、誰よりも先に突っ走り、つまずき、頭を抱えている姿をよく見かける訳ですが(笑)…)。今では当たり前のように思っていますが、以前の自分では想像できなかった対応です。特養の介護、かもな園の介護を実践していく中で自分の成長を感じています。





林 香 織

2005年度入社



Kaori Hayashi

● デイサービスセンター「いこい」
介護職員/生活相談員

Message from Sawarabi Staff

仕事も家庭も充実できます!

私は2度の産休・育休を経て職場復帰しました。育児と仕事の両立は、やはりなかなかの試練がありました。通勤時間が長いこと、今しかできない子供との関わり方はこれで良いのか?…等、悩んだ時期もありました。元々、心配性で先々まで考えてしまう私の性格です…。所属部署がデイサービスということもあり限られた人員配置の中で、勤務の都合を融通してもらうことにも遠慮がありました。そんな私の気持ちを変えてくれたのは直属の“説法の上手いお坊さんのような上司”でした。「今の職場でしかできないことがある…」その言葉の意味を色々考える中で、もう少し頑張ってみようという思いが出てきました。そのお坊さん上司は、それぞれの職員の特性を引き出すのが本当に得意です。(どこかで得意度しているのかも…)

ふつきたれの私は、よく笑うお母さんを取り戻し、子育ては関わる時間ではなく密度だとつくづく思える今日この頃です。職場でもよく笑っています!よく提案もします!その考え方と共に感してくれる上司や、それぞれの持ち味をいかんなく発揮できている仲間と共に、チーム一丸となつて認知症ケアに取り組んでいる現在は、とても充実しています!





谷 内 美 幸

1999年度入社

● 特別養護老人ホーム「かもな園」

介護副主任

Message from Sawarabi Staff

チームワークが良い!



Miyuki Taniuchi

博多出身の今年36歳です。かもな園に就職して16年です。2児の母親でもあります。年々体力が付き貢献が付き、今や職場でも家庭でも怖いものなしです(笑)とは言え、私自身もかもな園も若かったものですから、何もかもが初陣でした。

育休取得や子供の行事、病気やケガでの急な欠勤、子育てと仕事を両立する上で避けて通れない閑門を突破することはこれから女性職員の為にもとの強い思いもありました。

そしてその思いは理解ある施設長や仲間により達せられ、今があります。現在も2名が育児休暇中です。復帰した職員の不安や戸惑いも経験済みの私だからこそできるフォローがあります。育児休暇だけでなく施設の取り組みとして有給休暇消化率も上昇しています。

スムーズに現場が回るような調整役も、私の仕事であると自覚し、忙しい1日も「何とかなるばい」が近頃は「何とかなるでよ」と、すっかり阿波女になりました。一人一人の立場や事情を解り合い、補い助け合つていけるチームワークの良い職場になっていると自信を持って言えます!





船 戸 紗

2004年度入社

● 特別養護老人ホーム「かもな園」
施設ケアマネージャー / 介護副主任

Message from Sawarabi Staff



Takeshi Funato

夢や希望が実現できる…。

利用者様のために、自分たちに何ができるのか、何を望まれているかを常に考えています。しかし自分の思いだけでは達成できないことや行動に起こせない時もあります。そんな時に上司や周りの人助けをもらい、利用者様の想いを形にしてきました。その経験から次は自分が周りの職員の力になっていきたいと思うようになりました。それからは仕事中や会議等では率先して意見を出し、前向きに仕事をするようになりました。そういうところを当時の課長や共感してくれる職員が評価してくれて、4年目には介護リーダー、6年目にはケアマネージャーの資格を取得し、現在は施設ケアマネージャーの役割も担いチームリーダーとなりました。チームをまとめ、利用者様の希望に沿った援助を行うのは大変です…でもやりがいがあります。

「利用者様の人生の最終章に出会い、関わらせていただく…」こんな経験ができる仕事を誇りに思っています。これからは、家族の方への支援や地域への貢献活動にも携わっていきたいと考えています。そういう想いを支えてくれ、協力してくれる上司や仲間がいる職場であり、利用者様にとっても、ひいては職員にとっても夢や希望がかなえられる施設なんだと思います。





藤内果菜

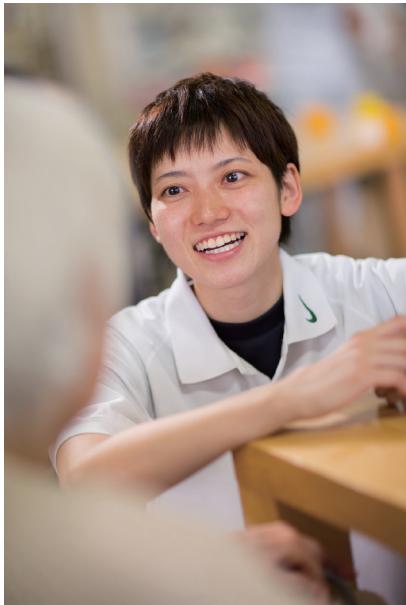
2014年度入社

●特別養護老人ホーム「かもな園」

介護職員

Message from Sawarabi Staff

信頼できる先輩達がいる。



Kana Fujiuchi

私は平成26年1月に入職しました。
特養で働くのは初めての経験です。
多くの利用者様を決められた人数で対応
しなければなりません。
時には時間に追われる事もあり、利用者様
一人ひとりにもっと時間を費やしたいと
思いながら業務を行っている時もあります。
又、職員が多い部署なので考え方の違いに
戸惑った事もありました。
そんな時、相談にのってくれた上司は
私の中に違和感を残すことなく
“色々な考え方があつて良い”という考え方で
解決してくれました。頼れる上司がいる。
凄いと思える先輩方がいる。
こんな環境で働けることに“やりがい”を
感じています。

私は介護職を幅広く、深く知りたいと
思っています。
その経験を積む為に特養を選びました。
「利用者様の顔を見ると瞬時に状態が
把握できる」
そんな介護のプロを目指しています。





都川文彰

2007年度入社

● 特別養護老人ホーム「かもな園」
介護副主任

Message from Sawarabi Staff



Fumiaki Miyakogawa

利用者本位の介護。

利用者様の気持ちを最優先に考え、仕事をしています。しかし業務に追われ、1日が無事に終わることを優先する職員やそれに合わせてしまっている自分がいました。“利用者本位”という気持ちを持っていてもチームとしても個人としても、なかなか行動ができませんでした。でも高校生の頃から、ずっと夢であった介護の仕事に就けたのだから、「目標としてきた介護をしなくてはいけない」と気持ちを入れ直し、原点である“利用者本位の支援”を実践してきました。なかなか周りに浸透しなかつたり、一つの介助に時間がかかることで不満の声もありましたが、自分の信念を貫いたことで今では周りの理解も得られ、職員全体が“利用者本位の支援”に理解を持ち、その援助者となっています。

介護職は知識や専門技術が必要な仕事ですが、一番は利用者様の喜怒哀楽に気づき、その方に心を寄せられるような支援が必要とされていると思います。これから目標は、かもな園という存在が地域の支えになれるように、介護に関することで困った方が相談に来たり、いこいの場になればよいと思っています。そのために地域の方に向けて認知症勉強会なども実施しています。かもな園と地域の交流を活性化させ、もっと地域が元気になれるような活動をしていきたいです。

